



日高町、門別競馬場が舞台

「ホースマンの純情」凱旋上映会&タカトシ寄席in日高

5月15日、門別総合町民センターで「ホースマンの純情」凱旋上演会と、その記念として「タカトシ寄席」が開催されました。

当町で撮影された同映画は、軽種馬牧場で働く若者の成長を描く短編映画で、北海道の「札幌よしもと」を拠点に活動している道内出身のお笑い芸人が出演しています。上映会当日は同じく道内出身のお笑い芸人「タカ&トシ」ほか、人気芸人による寄席も開催され、普段見ることのできないお笑い芸人の芸やトークに会場は笑いの渦に包まれていました。



かしわ記念で鮮やかな復活！

コパノリッキーがG I・6勝目を飾る

5月5日、船橋競馬場で開催された第28回かしわ記念(G I 競走)で福満のヤナガワ牧場生産馬コパノリッキー号が優勝しました。

コパノリッキー号は最後の直線に入って抜け出し、2着馬に3馬身をつける圧勝のレースでした。

昨年11月のJBCクラシックから優勝が遠ざかっていたコパノリッキー号ですが、今回の優勝でファンへ復活をアピールし、このレースを機に、今後も活躍が期待されています。

写真提供 NAR



日高の旬を味わう

日高「春」の味覚フェア開催！

5月22日、道の駅「樹海ロード日高」で日高「春」の味覚フェアが開催されました。

当日は天候にも恵まれ、日高の旬の素材をふんだんに使った料理を楽しもうと、町内外より延べ約2,000の方が来場され、春の味覚を存分に楽しんでいました。

また、同会場では北海道オールドカーフェスタも同時開催され、昭和の時代に活躍した名車や旧車約140台が集まり、会場を訪れたファンを魅了していました。



有限会社成功様による地域貢献活動

門別やすらぎ荘物置小屋の解体

5月20日・21日の両日、札幌市白石区の有限会社 成功様による地域貢献活動が行われました。

同社の代表取締役が日高町出身であったため、実施していただくこととなったこのたびの地域貢献活動ですが、門別やすらぎ荘の物置等の解体工事を5棟分実施していただきました。

解体によってまっさらに整備された跡地は眺めも良くなり、心地良い空間となりました。



門別やすらぎ荘にてボランティアによる各慰問活動

平取そば打ち同好会によるそば打ちの実演・琴朋会(きんほうかい)による大正琴の演奏会

5月23日、門別やすらぎ荘で平取そば打ち同好会(旭岡誠会長、会員20人)によるそば打ちの実演が行われました。小気味よい音を響かせながら、リズムカルに手際よく作業する様利用者の方は見入っていました。同好会のお手本を参考に利用者の方数人に体験してもらい、体験後は、「昔は家でやっていた」という声もあちこちから聞こえ、昔話に花を咲かせているうちに、あっという間に打ち上がったそばは、何と60人前。

昼食時間に合わせて茹で始め、さらに、うどやさつまいもの揚げたての天ぶらを乗せ、天ぷらそばとしてみんなでおいしくいただき、終始なごやかな中、平取同好会によるそばうちの実演が終わりました。ごちそうさまでした。

また、翌日24日には富川の琴朋会(藤原マサエ代表)による大正琴の演奏をご披露いただきました。

この日は5名の演奏者にお越しいただき、「夕やけ小やけ」や、「ふるさと」など、全7曲をご披露いただきました。

途中、大正琴の演奏に合わせ曲の歌詞を口ずさむ利用者の方もいたり、大正琴の音色にどこか懐かしさを感じる演奏会でした。



門別地区自治会連絡協議会功労者表彰・感謝状贈呈

地域社会への振興・発展への功績を称え

5月30日、平成28年日高町門別地区自治会連絡協議会(土田作郎会長)功労者表彰式、感謝状贈呈が門別公民館で行われ、塚田忠さん(門別本町)、高橋正幸さん(門別本町)、の2名が功労者表彰を受け、菅原安昭さん(富川南)が感謝状の贈呈を受けました。

功労者表彰の2名につきましては、長年にわたり町内会長等を務め地域の振興、発展に尽力されました。また菅原さんにつきましては、避難用地を提供し地域の安全に寄与されました。

会長より祝辞とともに記念の盾、感謝状が贈呈されました。



園児にも大人気!

厚賀幼稚園にかわいいバスが仲間入り

5月24日、厚賀幼稚園に車体に大きな犬のデザインが施された「ワンワンバス」が納車されました。

ワンワンバスの定員は大人3人、子ども24人で、厚賀幼稚園の園児全員を一度に送迎できます。後部スライドドアには小さな子でも乗りやすいよう自動ステップも装備され、園児は「かわいいバスに乗れてうれしい。」「毎日このバスに乗るのが楽しみ」と喜んでいました。

ワンワンバスは同月27日から園児の送迎に運用され、町内を走行しています。